

平成27年度IDE大学セミナー実施要領

1. 趣旨

一昨年教育再生実行会議の第4次提言が公開され、昨年末には中教審の答申として次期入試制度が発表されました。そこでは共通テストを毎年複数回実施し、段階別評価を導入することなどが提案されており、この案が採用されれば日本の高大接続のしくみは、大きく変わることになります。この制度に対応して、大学は入試制度と入学後の教育を、高校は教育内容を再構築することになるでしょう。

今年度のIDEセミナーでは、高大接続について積極的に活動している国内の事例を学ぶとともに道内の動向も紹介し、今後の各大学の活動の参考となるよう企画しました。5年後の未来を予想し、今後の指針を得たいと思います。なお、今回のセミナーでは最新の情報を紹介するとともに大学入試に関するアンケートを実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

2. テーマ 「高校・大学接続の将来像」

3. 主催 IDE大学協会北海道支部・北海道大学共催

4. 日時 平成27年8月27日(木)～28日(金)

5. 場所 ホテル札幌ガーデンパレス
札幌市中央区北1条西6丁目 TEL 011-261-5311

6. 内容

【8月27日(木)】

(1)特別講演1 (15:40～16:40)

「高大接続の「理想」は「現実」になるか？」

大阪大学 グローバルアドミッションズ オフィス長 教授 川嶋 太津夫

(2)特別講演2 (16:50～17:50)

「学部横断型教育『21世紀プログラム』と多面的評価への指針」

九州大学 基幹教育院 教授 林 篤裕

【8月28日(金)】

シンポジウム (9:30～12:00)

テーマ「北海道における高大接続」

司会：北海道大学 教授 鈴木 誠

〈シンポジスト〉

「小樽商科大学が模索する高大接続」

小樽商科大学 理事・副学長 鈴木 将史

「多面的評価の導入と入試改革」

北海道科学大学 教授 石田 眞二

「高校現場からみた高大連携から接続への期待」

北海道立教育研究所附属理科教育センター 金本 吉泰

「大学入試改革への提言ーダビンチ入試からの示唆ー」

京都工芸繊維大学 教授 内村 浩

「多様化する高校と大学をどう繋ぐか？～総合入試の試み～」

北海道大学 准教授 池田 文人